

介護サービス基盤整備の目標の算出方法について

1. 介護サービス基盤整備の目標の算出

(特別養護老人ホーム入居申込者数及び各事業種別の入居(所)者数は令和2年4月1日現在の実績値を使用)

【特別養護老人ホーム】



令和2年度想定不足分218人≒ 220人を整備量の目標とする。

【介護老人保健施設】

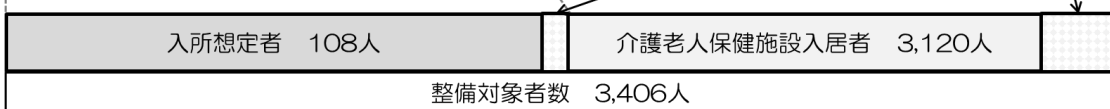
①介護老人保健施設の入所希望者

介護老人保健施設入所希望者 108人

②計画上の介護老人保健施設入所想定

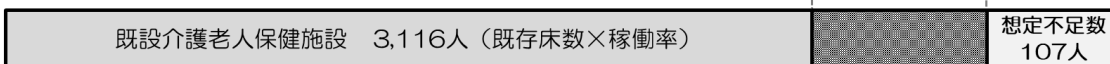
入所想定者 108人

③令和5年度での整備対象者数



要介護認定の伸び率を
加味：5人

要介護認定の伸び率を
加味：173人



第7期残整備予定分：183人

令和2年度想定不足分 107人 ≒ 110人 を整備量の目標とする。

【認知症対応型共同生活介護】

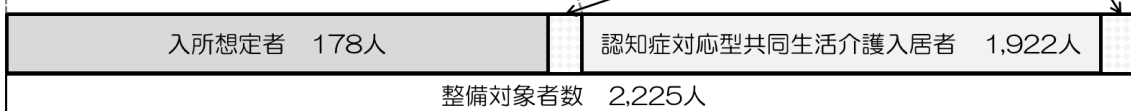
①認知症対応型共同生活介護の入所希望者

認知症対応型共同生活介護入所希望者 178人

②計画上の認知症対応型共同生活介護入所想定

入所想定者 178人

③令和5年度での整備対象者数



要介護認定の伸び率を
加味：12人

要介護認定の伸び率を
加味：113人



第7期残整備予定分：106人

令和2年度想定不足分 133人 ≒ 135人 を整備量の目標とする。

【特定施設入居者生活介護】

①特別養護老人ホームの入所希望者のうち有料老人ホームに入所しても良いと考えている人数

52人

②特別養護老人ホームの入所希望者のうち入所希望時期不明な人数

89人

③希望時期不明のうち「他施設」に入所しても良いと考えている人数

47人

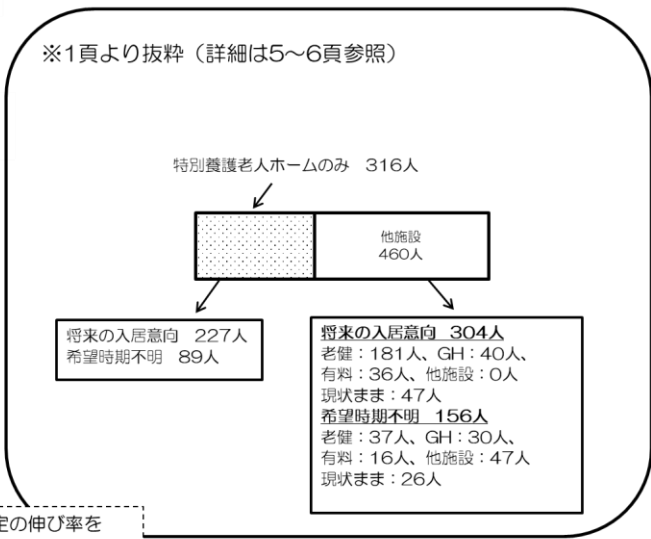
④特例入所対象外の人数

119人

⑤特定施設入居者生活介護の整備目標数

①52人 ②89人 ③47人 ④119人

※1頁より抜粋（詳細は5～6頁参照）



要介護認定の伸び率を
加味：18人

=325人

325人 ≒ 330人を整備の目標数をする。

2. 特別養護老人ホーム入居希望者向けアンケート調査の概要

調査対象：令和2年4月1日現在、特別養護老人ホームに入居申込している仙台市民 1,727 人から無作為抽出した 700 人

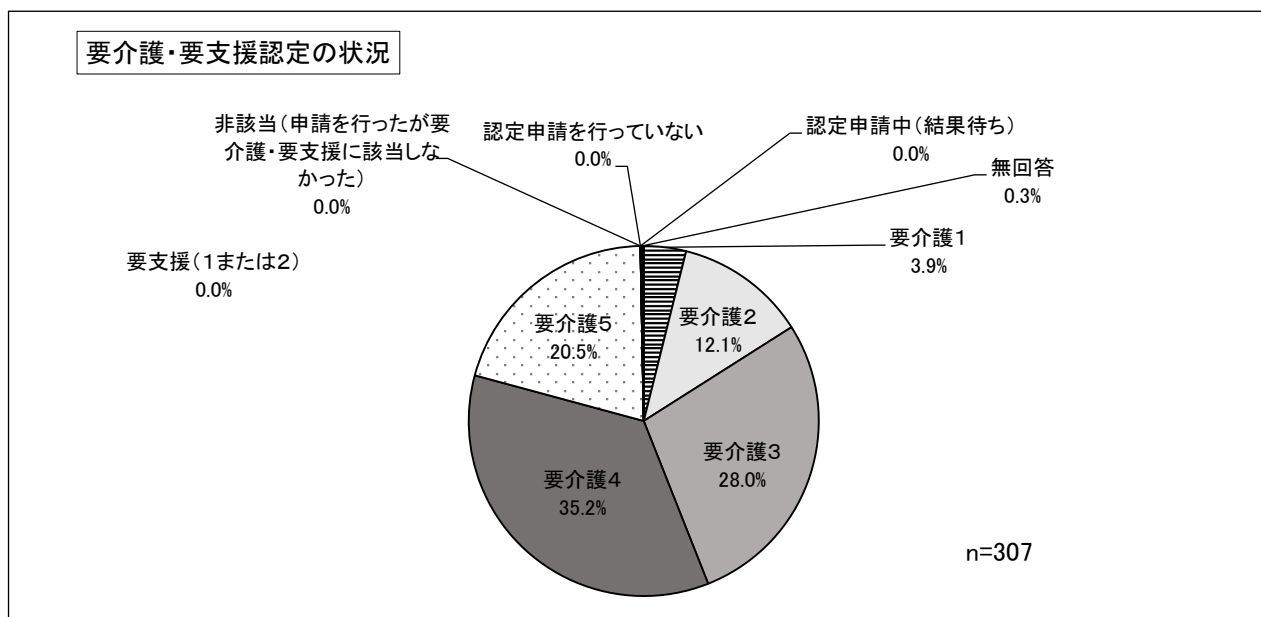
実施方法：調査対象者へ調査票を直接送付することにより実施

実施時期：令和2年7月8日～同年7月31日

■ アンケート調査回答者内訳

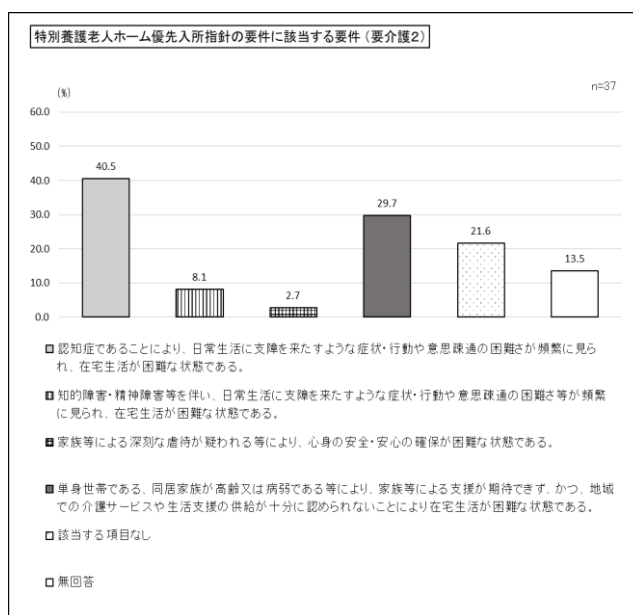
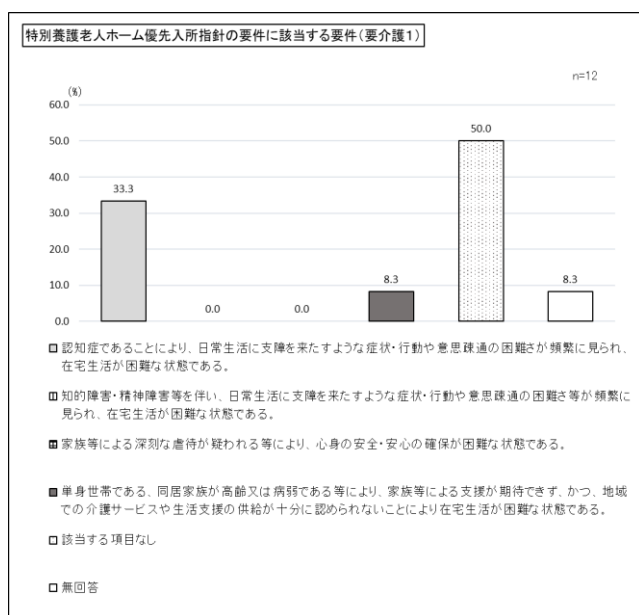
有効回答者数：307 人

(回答率：43.9%)

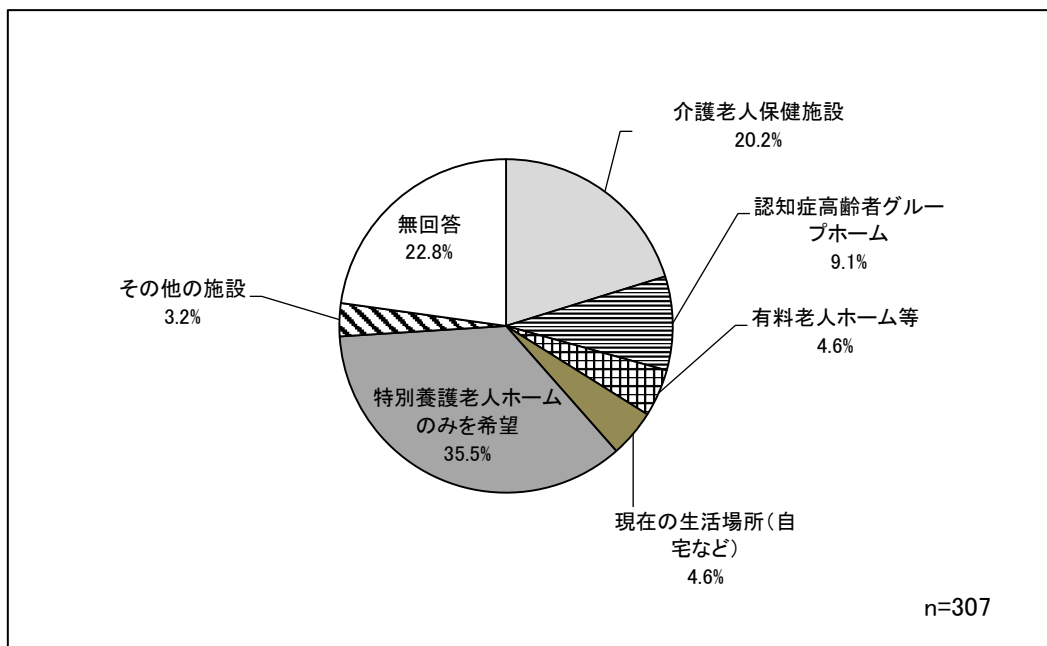


■ 特別養護老人ホーム特例入居指針の要件の該当者（複数回答あり）

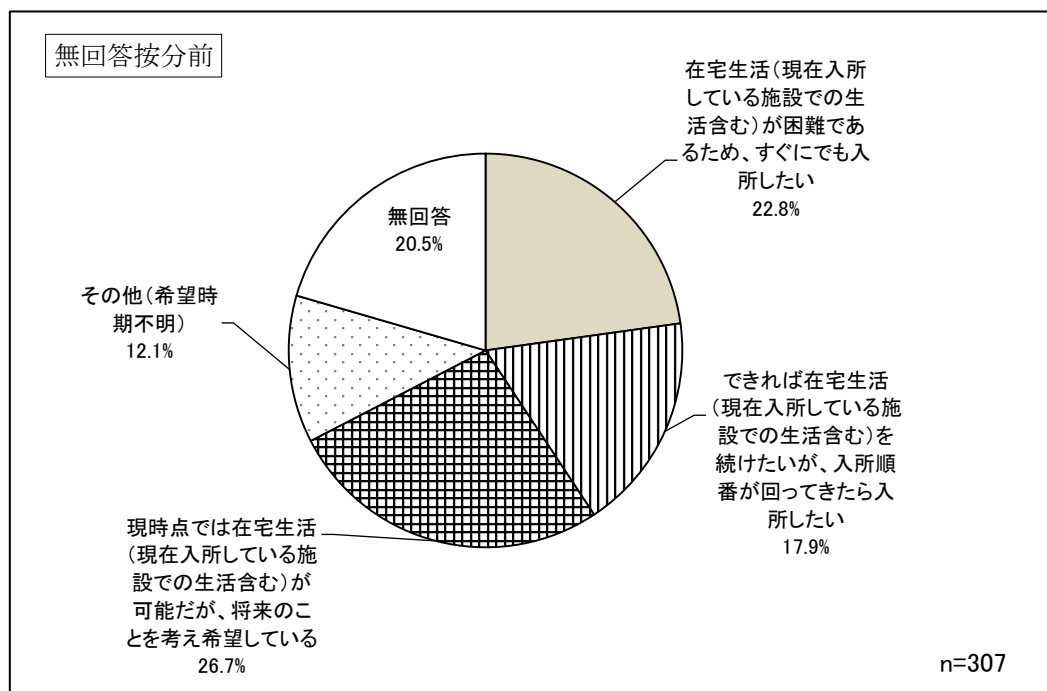
特例入居指針の要件に該当する状態にあると回答した方は下表の通り。



■ 特別養護老人ホームのみに入居を希望する方、他の施設でも良い方の割合
各希望は下表のとおり。



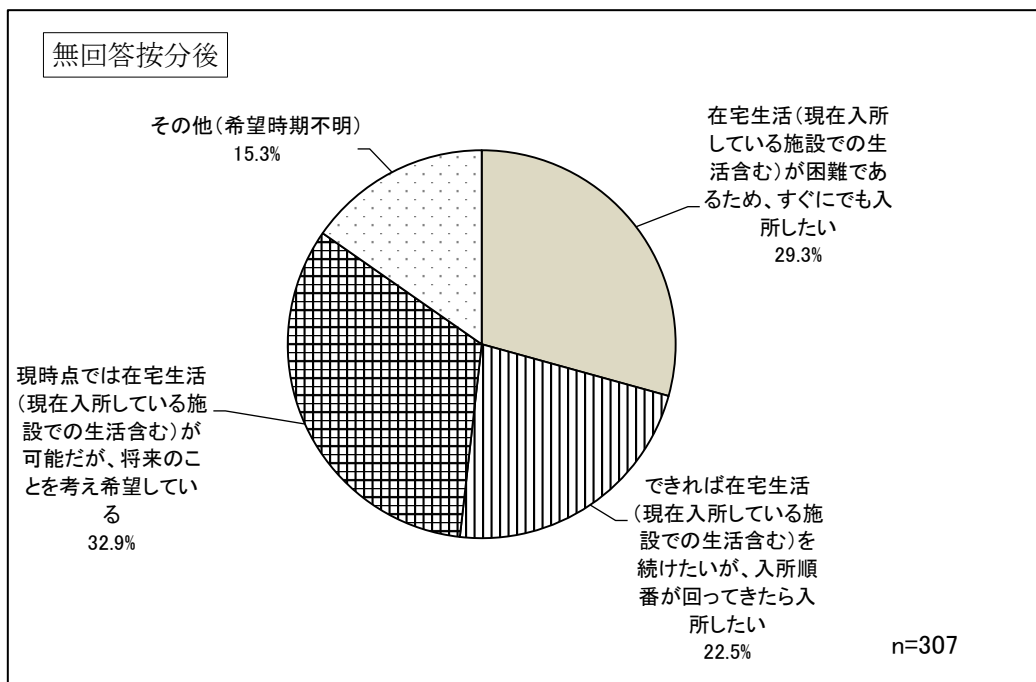
■ 特別養護老人ホーム入居に対する希望（入居時期に関する希望）の割合
各希望は下表のとおり。



■ 無回答按分後の特別養護老人ホーム入居に対する希望（入居時期に関する希望）の割合

按分後の割合は下表のとおり。

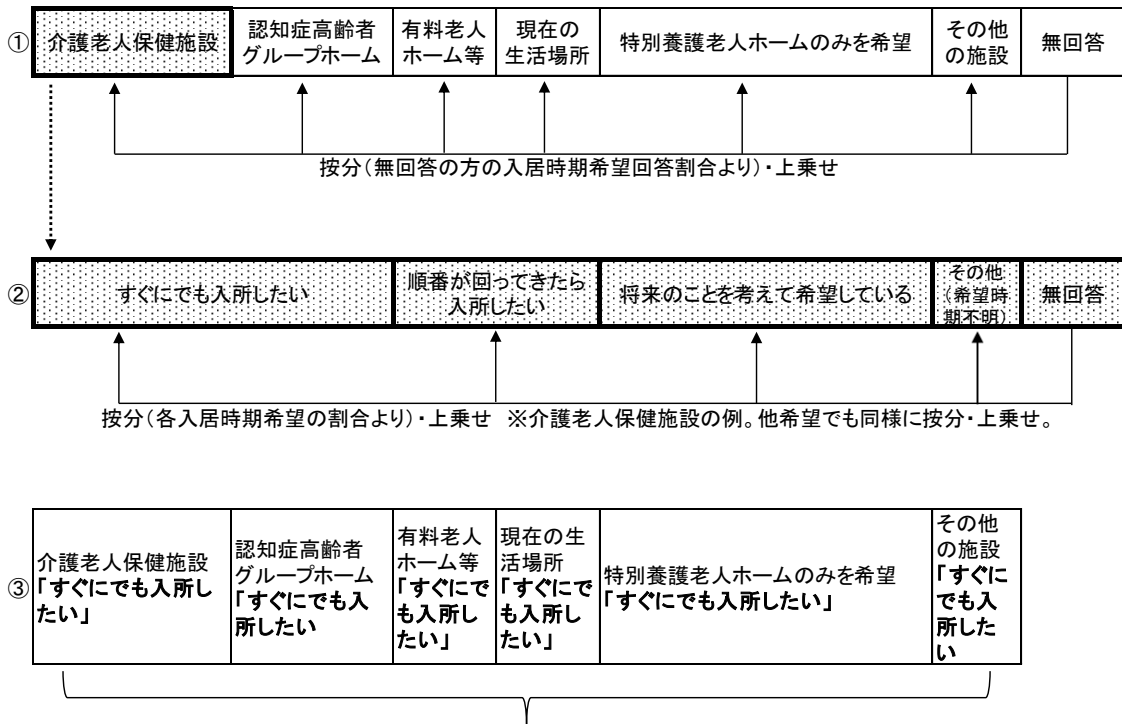
1 頁の早期入居希望者 832 人は下表の「すぐに入居したい」、「順番が回ってきたら入居したい」が対象。



※無回答按分の考え方（次頁イメージ図参照）

- ①：「特別養護老人ホームのみに入居を希望する方、他の施設でも良い方」の設問で無回答だった方を、「特別養護老人ホームのみに入居を希望する方、他の施設でも良い方」それぞれに回答した方へ按分・上乘せ（按分は無回答だった方の入所時期希望の割合を引用）。
- ②：①で把握された按分・上乘せ後の「特別養護老人ホームのみに入居を希望する方、他の施設でも良い方」それぞれについて、入所希望時期無回答だった方を、各希望時期の回答割合ごとに按分・上乘せ。
- ③：②で把握されたそれぞれの施設の希望時期割合ごとの合計が上表。

イメージ図



6頁表中の29.3%